

二宮小学校だより



にのみや学園
二宮町立二宮小学校学校だより
令和5年度第7号(2/7発行)

2024年、令和6年が始まって早くもひと月が過ぎました。毎年のことながら、年が明けてから学年末となる3月までの3か月、時間の流れが特にはやいと感ずります。

1月9日(火)の始業式の日、子どもたちには、辰年に関係した次のような話をしました。

「『辰』には『ととのう』という意味があるそうです。つまり、明るい陽気の中、草や木がよく成長して形がととのうことを表すようです。そこから、辰年は、すべてのものが活発になって大きく成長し、形がととのう年だと言われています。

みなさんも、この辰年の意味にもあるように、大きく成長して形がととのう1年になるといいですね。」

今学期は3か月に満たない短い学期ですが、4月からの1年を振り返るとともに、新しい学年を意識し、どのような自分をめざすのかを考える、大変重みのある学期です。子どもたち一人ひとりがどんな成長を見せてくれるか楽しみです。

～「創立 150 周年」に迫る学習～

創立 150 周年を迎え、そこに迫る学習に各学年、各学級で取り組んでいます。3年生と6年生は現在進行形ですが、今回の学校だよりでは、学習を終えた、たあくなか級と2年生の紹介をします。

〇たあくなか級

「50年後の二宮町と二宮小学校」



50年後、創立 200 周年を迎えた二宮小学校はどうなっているのでしょうか。どうなっていたらうれしいでしょうか。子どもたちは、「50年後の二宮小学校はレストランになっていたらうれしい。でも、学校がなくなったらみんなが困るから、レストランは雲の中にあって、ドローンで料理を運んだり、ロボットの店員が働いていたりするとおもしろい。」そのようなことを考えました。

想像しているだけで楽しくなってきます。そして、「二宮小学校は50年後も子どもたちが笑顔で過ごせる場所であり続けてほしい。」そのような願いも込めながらみんなでそのモデルとなる作品を作りました。

〇2年生 「知ろう！考えよう！二宮小学校!!」

二宮小学校の様々な年代の先輩（60年前の小学生、45年前の小学生、10年前の小学生）から、それぞれの時代の教科、行事、給食、休み時間、校舎の様子などについて話を聞きました。

60年前の小学生からは、くすのきの下に舞台を設置して学芸会を開いたこと、休み時間は鉄棒やおしくらまんじゅう、馬乗りなどをして遊んだこと、給食ではくじらの竜田揚げが印象に残っていること、45年前の小学生からは、春の小運動会、秋の大運動会というように運動会が年に2回あったこと、休み時間はドッジボールやおにごっこ、回旋塔という遊具で遊んだこと、給食では焼きそばやスパゲッティミートソースが人気があったこと、10年前の小学生からは、交流班で二宮町内を巡る「ふれあいハイキング」という行事があったこと、休み時間はドロケイやドッジビーで遊んだこと、給食に時々出されたクレープが印象に残っていることなどの話がありました。



先輩から話を聞いた後、どんな二宮小学校にしていきたいか、どんな二宮小学校になってほしいかを考えました。

〇こんな二宮小学校にしていきたい

- ・みんなが明るくえがおでいる学校にしたい。
- ・みんななかよしで思いやりのある学校にしたい。
- ・みんながやさしくなるような学校にしたい。
- ・みんながあいさつをする学校にしたい。
- ・ゆずりあいができる学校にしたい。
- ・そうじをしてきれいな学校にしたい。
- ・ルールやきまりを守る学校にしたい。

○こんな二宮小学校になってほしい

- ・春にはさくらの花びらがふってほしい。
- ・図書室が大きくなってほしい。
- ・中休み、昼休みがちょっとふえたらいい。
- ・シーソーなどゆうぐがふえてほしい。
- ・校ていが広がってほしい。
- ・このままずっとかわらないでほしい。

～ お礼の会 ～

1月23日(火)に4年ぶりとなる「お礼の会」を開きました。日頃から登下校の見守りや学習の支援、また校内の環境整備等でお世話になっている地域の方々にご参加いただきました。

まず、児童委員会の子どもたちが先導し、参加された方々を拍手でお迎えしました。次に、2年生によるはじめの言葉、6年生によるお礼の言葉と続き、参加された代表の方から次のようなあいさつをいただきました。

「私たちは、みなさんが学校で安心して生活できるように、楽しく過ごせるように、登下校の見守りやお話をしたり、図書室を整えたり、花を生けたりしています。そして、皆さんが成長していくことが楽しみで、その姿を見ることによって元気ももらっています。」

その後、参加された方と全校児童とで校歌を歌った後、3年生による終わりの言葉で会を閉じました。

最後、退場される皆さんお一人お一人にメッセージカードをお渡ししました。このメッセージカードは、色をぬったり、メッセージを書いたり、貼り合わせて整えたりと、全学年の子どもたちが力を合わせて作りました。



地域の皆さま、いつも二宮小学校の子どもたちのためにお力添えをいただき、ありがとうございます。

～ 新年の書き初め ～

新年の決意新たに書き初めの学習を行いました。そもそも書き初めとは、年が明けてから初めて毛筆で文字をしたためることで、1年間の目標や抱負を書き、行動を新たにするという意味があ

ります。子どもたちは、一文字一文字ていねいに、心を込めてしたためました。

たあくなか級は自分で考えた言葉を、1年生は「お正月に、おぞうにをたべました。からだかぼかぼかしました。」、2年生は「きれいなはつ日の出を見ました。新しい年がはじまります。」、3年生は「友だち」、4年生は「明るい心」、5年生は「希望」、6年生は「進む勇氣」「将来の夢」を書きました。

新年に静まり返った教室で真っ白な紙に自分と向き合いながら真剣に文字を書く。とても大切な学習です。



～ にのっこウォークラリー ～

1月26日(金)、児童委員会の子どもたちが中心となって企画・運営した「にのっこウォークラリー」が行われました。この活動は、1年生から6年生までの交流班(1班13人～14人)みんなが一つになって、それぞれのポイントに用意されているゲームやクイズに挑戦するものです。活動を通して、学校生活の中でお互いに協力する態度を育てること、また、いろいろな年齢の仲間をまとめていくリーダー性を育てることを主なねらいとしています。

最初のプログラムは児童委員会による開会式。みんなで決めたこのウォークラリーのスローガン「笑顔さき 絆深める 二宮小」が発表されました。

その後、全48班が一斉にスタートしました。校舎や体育館に用意されたポイントは全部で17。これらをみんなで協力しながら回ります。それぞれのポイントでは、リーダーの6年生が仲間を気づかう、上級生が下級生に励ましの言葉をかける、心配そうに見つめる、また下級生が上級生を頼りにする、そのような姿が見られました。

そして最後のプログラムの閉会式では、児童委員会の委員長より、このウォークラリーのスローガンをふり返って感じたことが伝えられました。

この活動の中で見られたすてきな姿が、日常生活のあちらこちらで見られることを願っています。



「だるまさんがころんだ」